

ニーズ&アイデア フォーラム2022

第9回成果発表会

- 医療・福祉系、デザイン系、工学系の学生混成チームによる
自立支援へのアイデア -

本当に役立つ支援機器を開発するには、本当のニーズを知らねばなりません。医療・福祉系、デザイン系、工学系の学生が混成チームを作り、国立障害者リハビリテーションセンターの職員と一緒に、さまざまな障害を持った人たちのニーズを学ぶことから始め、障害当事者の方々の意見を聞きながら、学生たちが自由にアイデアを出し合い、独創的な支援機器をいっしょに形にします。

ニーズ&アイデア フォーラム(略称NIF)は、障害がある人の支援機器関係のモノ作りに関する人材育成の研究で、それらの成果物や利用者のニーズの一端を多くの方々に知っていただき、本分野の情報共有の促進や支援機器開発の促進を図ることを目的にしています。

※26年度4校、27年度8校、28年度11校、29年度3校、30年度7校、令和元年度8校、令和2年度6校、令和3年度6校、令和4年度9校が参加しています。30年度から3年間人材育成プログラムの開発のための研究として実施してきました。

Needs & Ideas Forum
for
well-being

日時：令和4年12月17日(土) 13:30~17:05

会場：オンライン開催 (ZOOM)

URL：<https://us06web.zoom.us/j/86544064844>

パスワード：049836 (本チラシ裏面の参加方法を必ずご確認ください)

問合せ：東 NIF@rehab.go.jp

○参考URL：<http://www.rehab.go.jp/ri/event/NIF/>

NIF 2019・2020・2021 アイデア集



片手でグローブをはめられる自助具'19



頸髄損傷者のためのネイルケア補助具'19



聴覚障害者に配慮した情報伝達手段の検討'19



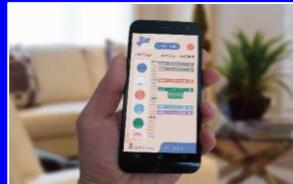
片麻痺の方のためのピアス装着自助具'20



視覚障害者のための音声付きエレベータボタン'20



感覚鈍麻障害者のための匂いチェッカー'20



高次脳機能障害者の予定管理アプリ'20



頸髄損傷者向けヘアゴム装着用自助具『髪パッチン』'21



点字のうち終わり場所がわかる設置型マーカー'21



視覚障害者向け物体認識カメラ'21



頸髄損傷者のための片手で使えるタオル絞り器'21

【参加協力の学校】

2014年度 医療・福祉系：社会医学技術学院、デザイン系：千葉大学、工学系：東京電機大学、埼玉大学
2015年度 医療・福祉系：社会医学技術学院、東京学芸大学、首都大学東京健康福祉学部、千葉県立保健医療大学、デザイン系：千葉大学、工学系：東京電機大学、埼玉大学、東京工業高等専門学校
2016年度 医療・福祉系：社会医学技術学院、東京学芸大学、首都大学東京健康福祉学部、千葉県立保健医療大学、日本医療科学大学、デザイン系：千葉大学、女子美術大学、首都大学東京システムデザイン研究科、工学系：東京電機大学、埼玉大学、東京工業高等専門学校、東京工業大学
2017年度 医療・福祉系：首都大学東京健康福祉学部、デザイン系：首都大学東京システムデザイン研究科、工学系：東京電機大学未来科学部・情報環境部/同大学院 未来科学研究科
2018年度 医療・福祉系：首都大学東京健康福祉学部、東京学芸大学、デザイン系：首都大学東京システムデザイン研究科、千葉大学、女子美術大学、工学系：東京電機大学、埼玉大学
2019年度 医療・福祉系：首都大学東京健康福祉学部、東京学芸大学、デザイン系：千葉大学、女子美術大学、工学系：千葉大学、東京電機大学、千葉工業大学、東京都立産業技術高等専門学校、埼玉大学
2020年度 医療・福祉系：東京都立大学健康福祉学部、千葉県立保健医療大学、デザイン系：千葉大学、女子美術大学、東京都立大学システムデザイン学部、工学系：埼玉大学
2021年度 医療・福祉系：東京都立大学健康福祉学部、尚絅学院大学、デザイン系：千葉大学、女子美術大学、東京都立大学システムデザイン学部、工学系：埼玉大学、東京電機大学
2022年度 医療・福祉系：東京都立大学健康福祉学部、山梨大学、尚絅学院大学、デザイン系：千葉大学、女子美術大学、東京都立大学システムデザイン学部、工学系：埼玉大学、九州大学、東京電機大学
※厚生労働科学研究費[障害者対策総合研究開発事業：支援機器イノベーション創出のための情報基盤構築に関する研究及び、平成30年度科学研究費補助事業、基盤研究(B)(一般)「ニーズに基づいた障害者ための自立支援機器開発を学ぶ人材育成プログラムの開発」]の一部です。2021年度は自動制御学システムインテグレーション部門福祉工学部および生活支援工学部生活支援工学に資する研究・実践への助成の支援を受けました。また、今年度は公益財団法人カシオ科学振興財団第12回(令和3年度)研究協賛事業として助成の支援を受けています。

ニーズ&アイデアフォーラム2022

第9回成果発表会プログラム

会場：オンライン開催（ZOOM）

※下記WEBサイトでご覧になり、チャットでご質問やアドバイスをお願いします。

URL：<https://us06web.zoom.us/j/86544064844>（パスワード：049836）

- 総合司会：渡邊 雅浩氏：国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局 総合支援課 課長
13:30-13:35 開会挨拶：
工藤 裕司氏：国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局 総合相談支援部 部長
- 13:35-13:40 企画の趣旨説明：
小野 栄一氏：国立障害者リハビリテーションセンター研究所顧問
- 13:40-14:50 学生チームによる成果発表（7グループ）
Group A: 視覚障害者のための料理の温度を伝えるデバイス
Group B: 視覚障害者向けの食器
Group C: 視覚障害者向け白杖装着用コンパス
Group D: 自分にだけ知らせてくれる音声体重計
Group E: 両手型電動マジックハンド
Group F: 肢体不自由向けのバッテリー交換補助装置
Group G: 頸髄損傷者向けヘアゴム装着用自助具
- 14:50-15:30 各チームへのインタビュー、試作品のデモンストレーション
司会：井上 淳氏（東京電機大学 工学研究科 准教授）
串山 久美子氏（東京都立大学 システムデザイン研究科 教授）
- 15:30-16:00 ゲストコメンテーターによる成果に対するコメント
佐々木 健氏（筑波技術大学 保健科学部保健学科 准教授）
塩澤 伸一郎氏（株式会社RMI 代表取締役）
河合 俊宏氏（日本リハビリテーション工学協会 会長）
司会：伊藤 祐子氏（東京都立大学 健康福祉学部 作業療法学科 教授）
- 16:00-16:10 休憩
- 16:10-16:30 コメントに対する学生チームの返答・zoom参加者からの質問と返答
- 16:30-17:00 参加学生による取組みに対する総括（学校ごとの代表者9校）
司会：徳永 千尋氏（日本医療科学大学 保健医療学部リハビリテーション学科 教授）
- 17:00-17:05 閉会挨拶
井上 淳氏（東京電機大学 工学研究科 准教授）
- ※講師などの都合により、予定が変わることがあります。
※進行の状況によって、各プログラムの開始時間を調整することがあります。

●参加方法

・個人名の表示を控える運用をしております。お手数ですがZOOMに接続される際に、登録名に下記の通りお立場を追記して登録していただくと幸いです。入室前に確認し入室を可と致します。
【例】名字のイニシャル + お立場（例：A大学生、T高校生、Y教育関係者、V開発企業、I行政関係者、C支援者、N当事者、G家族、F研究者、W医療関係者・福祉関係者、Bその他（ ））。

・多くの方が参加することによって、回線への負荷がかかりパフォーマンス低下につながる可能性があります。そのため、開催中は発表者と司会者等を除いてカメラ・マイクをオフにしてご参加ください。